

広報アンケート 報告書

平成 28 (2016) 年 8 月
豊岡市

目次

アンケートの概要

1 調査の目的	2
2 調査の方法	2
3 調査票の回収	2
4 報告書の見方	2

アンケートの結果

1 居住地域	3
2 性別・年代	3
3 市の事業や行事を知る方法	4
4 「広報とよおか」を読んでいるか	4
5 「広報とよおか」で役立つ(興味深い)記事	5
6 「広報とよおか」をどの程度読んでいるか	6
7 「広報とよおか」の文字・掲載内容等	6
8 「広報とよおか」を読まない理由	7
9 市政情報提供の満足度	7
10 「広報とよおか」への意見・要望	8
11 「市ホームページ」を見ているか	9
12 「市ホームページ」を見る方法	9
13 「市ホームページ」で役立つ(興味深い)記事	10
14 「市ホームページ」の掲載内容	11
15 「市ホームページ」を見ない理由	12
16 「市ホームページ」への意見・要望	12
17 総括	13

アンケートの概要

1 調査の目的

市政情報の提供手段の中で最も市民に身近な市広報紙「広報とよおか」や、市内外への情報発信に大きな役割を果たす市ホームページについて、市民の意見を聞き、今後の広報事業に反映することにより、対話と共感の市政を推進する。

2 調査の方法

調査期間 平成 28 年 6 月 8 日(水)～22 日(水)

調査対象 平成 28 年 5 月 13 日現在、市内に住民票のある 16 歳以上の方

前回(平成 25 年)は、調査票を世帯主に送付(記入は、世帯員誰でも可)

標本数 1,600 人

標本抽出 住民基本台帳より無作為抽出

調査方法 郵送による調査票の配布・回収

3 調査票の回収

回収数 665(男性 268、女性 330、性別無回答者 67)

回収率 41.6%

回収票の年代構成

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
回収数	16	33	44	98	114	158	193	9	665
(%)	2.4	5.0	6.6	14.7	17.1	23.8	29.0	1.4	100.0

地域別の標本数と回収数

地域	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	不明	合計
対象人口	37,784	3,094	4,231	14,763	8,845	3,946	0	72,663
(%)	52.0	4.3	5.8	20.3	12.2	5.4	0.0	100.0
標本数	808	66	86	334	218	88	0	1,600
(%)	50.5	4.1	5.4	20.9	13.6	5.5	0.0	100.0
回収数	340	32	40	133	82	33	5	665
(%)	51.1	4.8	6.0	20.0	12.3	5.0	0.8	100.0

4 報告書の見方

無回答の質問については、一部、前後の質問から回答を推定した。

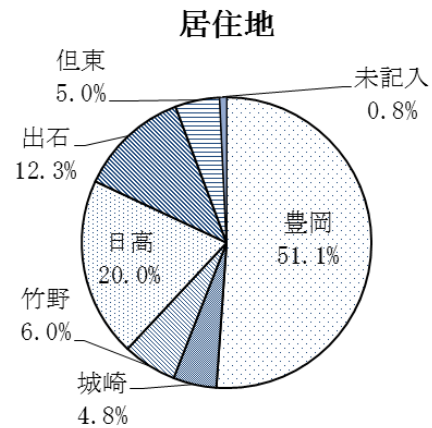
グラフ中での選択肢は、長い文を簡素化しているものもある。

百分率(%)は、端数処理の関係で、合計が 100.0%にならない場合がある。

アンケートの結果

問1 お住まいの地域はどこですか。

選択項目	回答数
豊岡	340
城崎	32
竹野	40
日高	133
出石	82
但東	33
未記入	5
合計	665

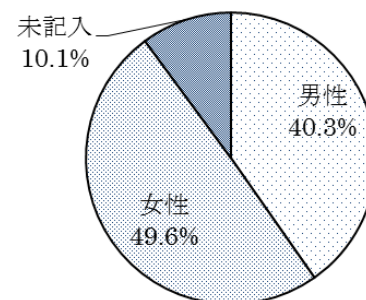


問2 あなた(回答者)の性別・年代をお聞きます。

性別

選択項目	回答数
男性	268
女性	330
未記入	67
合計	665

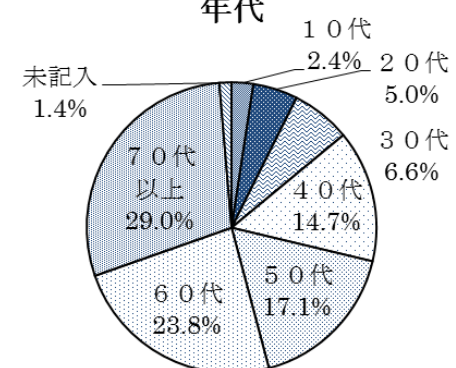
性別



年代

選択項目	回答数
10代	16
20代	33
30代	44
40代	98
50代	114
60代	158
70代以上	193
未記入	9
合計	665

年代

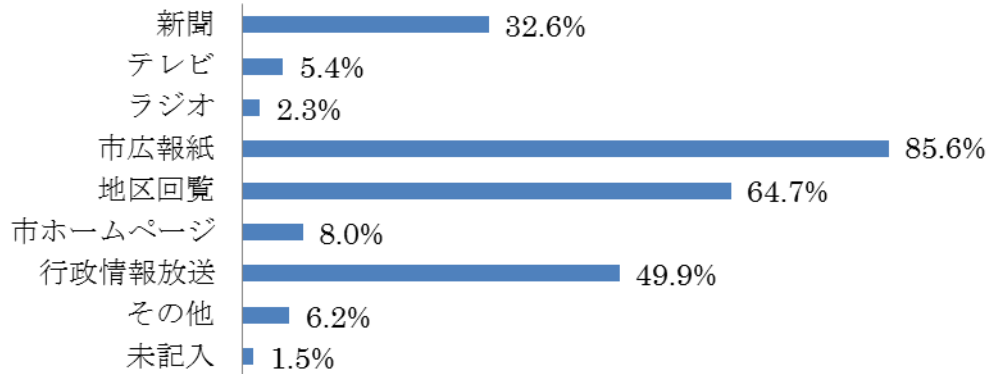


【問1、2 結果のまとめ 回答者の属性】

男女比が約4:5で、52.8%が60代以上である。前回調査(平成25年6月実施)では、男女比は約5:3で、58.2%が60代以上だった。

問3 あなたは、市の事業や行事などを主にどのような方法でお知りになりますか。該当するものを3つ選んでください。

市の事業を知る方法



<その他> 家族、友人 子育てセンター、地区公民館 看板、ポスター インターネット

【問3 結果のまとめ】 複数回答です

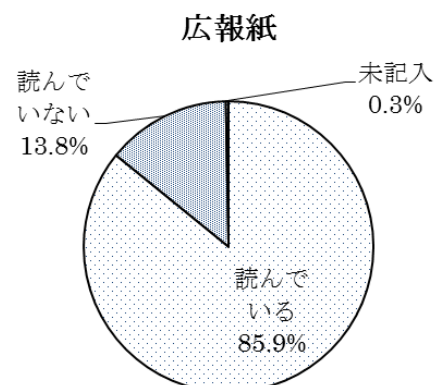
市の事業・行事などを知る方法で最も多かったのが、市広報紙 569 人(85.6%)で、次いで地区回覧 430 人(64.7%)、行政情報放送 332 人(49.9%)となっている。

前回調査(平成 25 年6月実施)では市広報紙が 89.4%で、今回は 3.8 ポイントの減少だが、市の情報提供で市広報紙は依然大きな役割を担っている。

市広報紙「広報とよおか」

問4 あなたは、「広報とよおか」を読んでいますか。

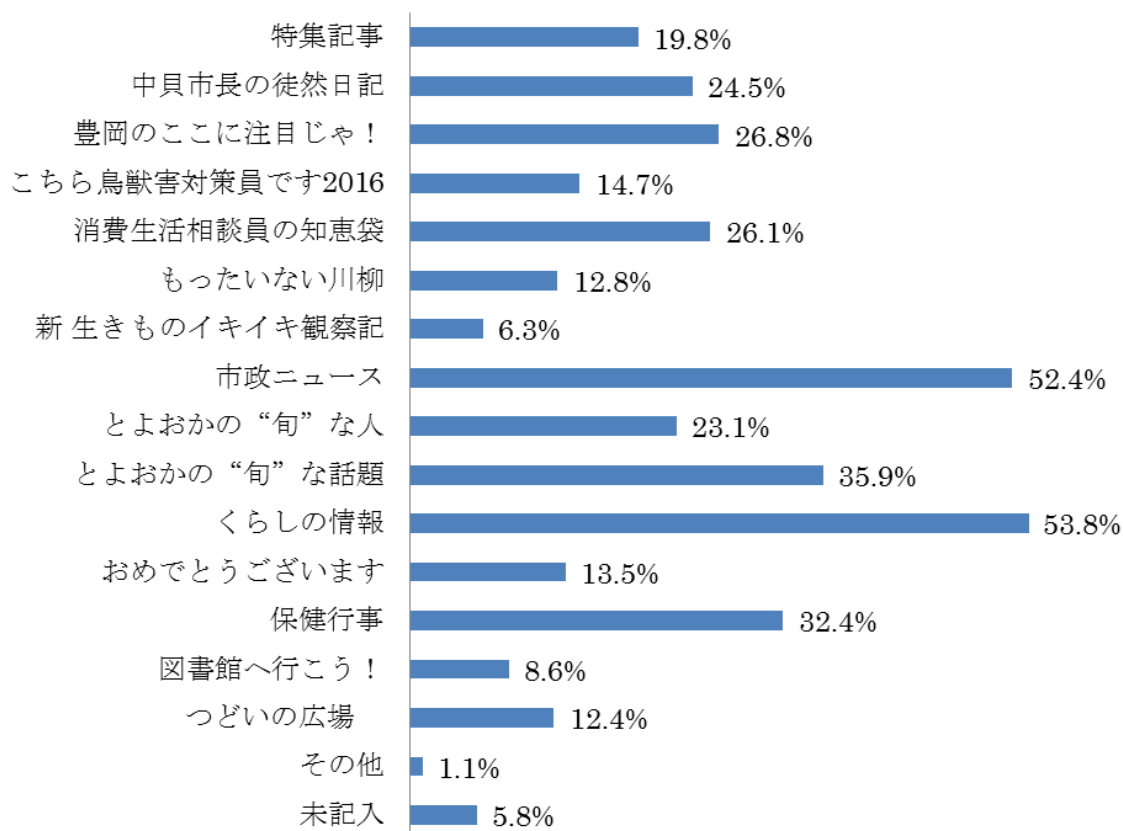
選択項目	回答数
読んでいる	571
読んでいない	92
未記入	2
合計	665



問4で読んでいると答えた方にお尋ねします。

問5 「広報とよおか」の掲載記事で、役立つ(興味深い)記事はどれですか(該当するもの全てにつけてください)。

広報紙で役立つ(興味深い)記事



<その他> 求人 子育て

【問5 結果のまとめ】 複数回答です

市広報紙の掲載記事で役立つ(興味深い)ものとして、「くらしの情報 307人(53.8%)」と「市政ニュース 299人(52.4%)」がそれぞれ50%以上を、「とよおか“旬”な話題 205人(35.9%)」と「保健行事 185人(32.4%)」が、それぞれ30%以上を占めている。

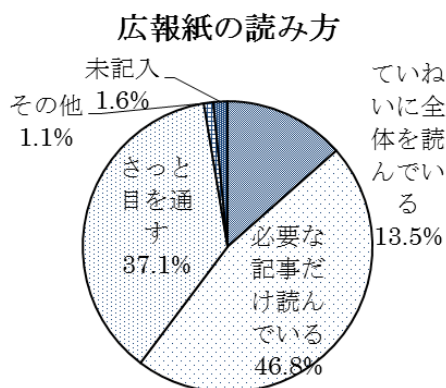
年代別の特徴として、市政ニュースでは60代が61.2%と高く、30代が29.7%と低い。また、くらしの情報では40代が66.3%と高く、20代が41.2%と低い。

このことから、年代により役に立つ(興味深い)記事に違いがあることが確認されたが、市の動きや、身近な情報に対する市民の関心の高さが伺える。

この結果を踏まえ、生活に密着し、市民が関心を持つような記事の充実を図りたい。

問6 あなたは、「広報とよおか」をどの程度読んでいますか。

選択項目	回答数
ていねいに全体を読んでいる	77
必要な記事だけ読んでいる	267
さっと目を通す	212
その他	6
未記入	9
合計	571

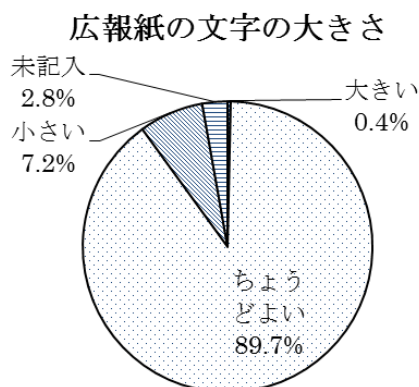


<その他> 全体に目を通し必要な記事は丁寧に読む

問7 「広報とよおか」の文字・掲載内容等についてどう思いますか。

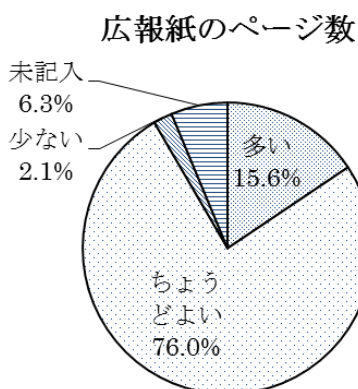
文字の大きさ

選択項目	回答数
大きい	2
ちょうどよい	512
小さい	41
未記入	16
合計	571



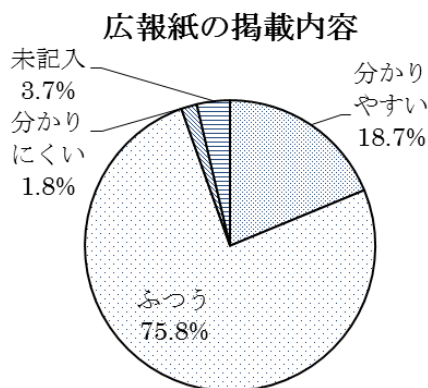
ページ数

選択項目	回答数
多い	89
ちょうどよい	434
少ない	12
未記入	36
合計	571



掲載内容

選択項目	回答数
分かりやすい	107
ふつう	433
分かりにくい	10
未記入	21
合計	571

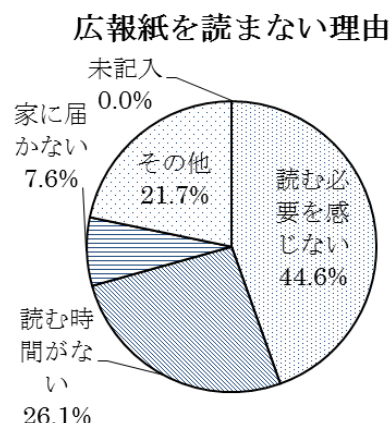


<分かりにくい理由> 字ばかり 記事が縦横混同
 専門用語が多い 無駄な記述が多い

問4で読んでいないと答えた方にお尋ねします。

問8 あなたが「広報とよおか」を読まない理由を教えてください。

選択項目	回答数
読む必要を感じない	41
読む時間がない	24
家に届かない	7
その他	20
未記入	0
合計	92



<その他> 興味がない 高齢で読めない
 進学して豊岡にいない ページ数が多過ぎる

【問4～8(5除く) 結果のまとめ】

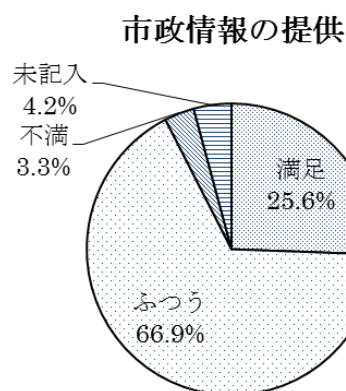
85.9%が市広報紙を読んでいる。そのうち、「必要な記事だけを読む」または「さっと目を通す」読み方をしている方は、83.9%である。

「文字の大きさ」は 89.7%、「ページ数」は 76.0%の方が「ちょうどよい」としている。「掲載内容」は、「分かりやすい(18.7%)」と「ふつう(75.8%)」を合わせると94.5%と高い割合になっている。

また、市広報紙を読まない理由に、「読む必要を感じない」、「ページ数が多過ぎる」があり、掲載記事のさらなる精査が必要である。

問9 平成27年4月から「広報とよおか」の発行回数が、月2回から月1回に減りましたが、市からの市政情報の提供に満足していますか。

選択項目	回答数
満足	170
ふつう	445
不満	22
未記入	28
合計	665



<不満の理由> 発行回数は月2回がいい

【問9 結果のまとめ】

「満足(25.6%)」と「ふつう(66.9%)」を合わせると 92.5%と高い割合になっている。市広報紙の掲載内容の再考、防災行政無線の放送内容の精査、市ホームページの充実など、広報媒体全体で効果的な市政情報の提供に努めたことが、市広報紙の発行回数減を補っていると考えられる。

問 10 「広報とよおか」についてのご意見・ご要望をお聞かせください(掲載を希望される内容なども教えてください)。

記事の提案

- ・ 各地区の話題やコミュニティ情報、地域の声・顔など身近な話題。
- ・ グルメ情報(お店や食材)。
- ・ 結婚やおめでた、お悔やみ。
- ・ 求人情報、企業紹介。

掲載内容の要望

- ・ 全体的な記事と地域別記事を分けて掲載してほしい。
- ・ 写真がたくさんあると見たくなる。

その他

- ・ 内容が充実している。
- ・ もっと読んでみようと思う内容にしてほしい。
- ・ 住民に必要な情報が何であるか考えてほしい。
- ・ 市長の徒然日記が楽しみ。
- ・ 月1回発行でいい。

など

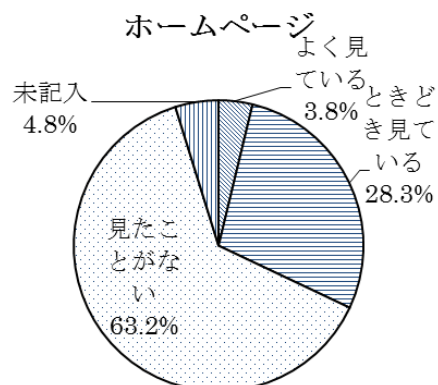
【問 10 結果のまとめ】

提言を受けた事項については、紙面づくりの参考にする。

豊岡市ホームページ

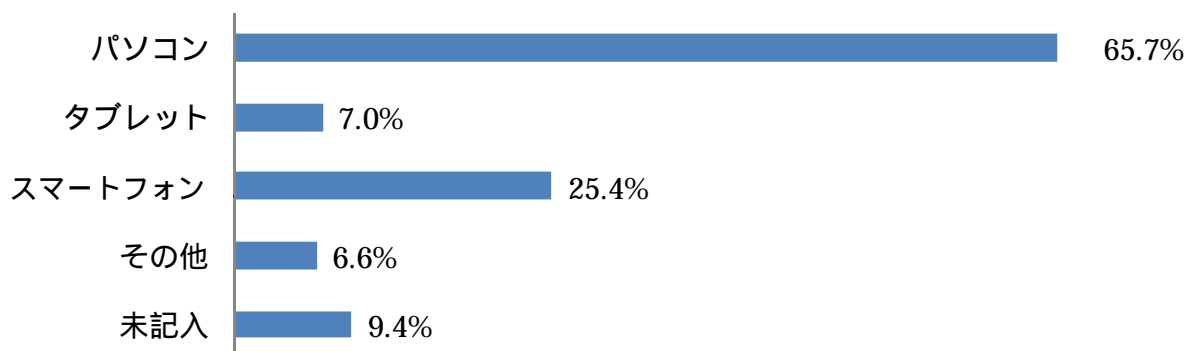
問 11 あなたは、市ホームページ「コウノトリの飛びまち 豊岡市へようこそ」を見ていますか。

選択項目	回答数
よく見ている	25
ときどき見ている	188
見たことがない	420
未記入	32
合計	665



問 12 あなたが、市ホームページを見る方法はどれですか(該当するもの全てに)をつけてください。

ホームページを見る方法



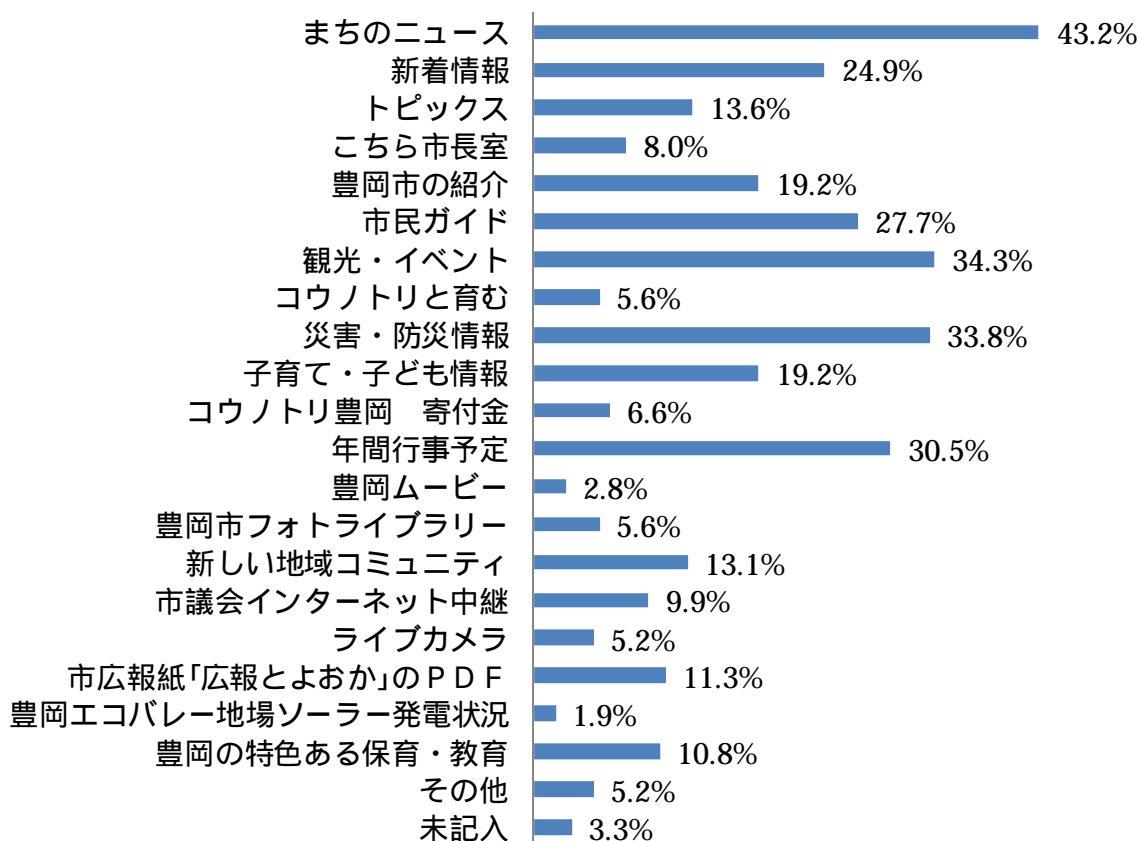
【問 11、12 結果のまとめ】 複数回答です

市ホームページを見たことがない人が、63.2%にも上っている。特に、10代で81.3%、60代で72.2%と高い割合になっている。

閲覧方法別では、パソコンが140人(65.7%)と高いが、前回調査(平成25年6月実施)の81.9%と比べると16.2ポイント減っている。代わって、スマートフォンが54人(25.4%)になり、前回調査の11.8%から倍増している。

問 13 市ホームページの掲載記事で、役立つ(興味深い)記事はどれですか(該当するもの全てにつけてください)。

ホームページで役立つ(興味深い)記事



<その他> 入札 税務 議会の議事録 ごみの分別

【問 13 結果のまとめ】 複数回答です

「まちなのニュース92人(43.2%)」が最も多く、「観光・イベント73人(34.3%)」、「災害・防災情報72人(33.8%)」、「年間行事予定65人(30.5%)」と続いている。上位3記事は、前回調査(平成25年6月実施)でも同じ順位である。「年間行事予定(30.5%)」が10.1ポイント増加して4位、「市民ガイド(27.7%)」も9.2ポイント増加して5位と順位を上げている。反面、前回4位の「新着情報(24.9%)」は3.1ポイント減少し6位と順位を下げた。このことから、新しいだけの情報よりも、イベントや生活情報など、より身近な情報にニーズが集まる傾向が伺える。

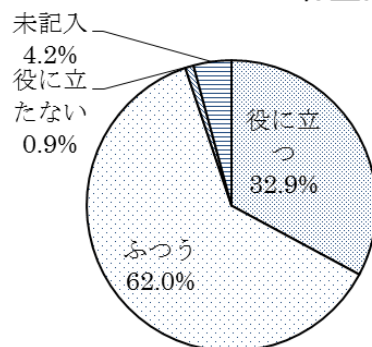
問 14 市ホームページの掲載内容についてどう思いますか。

有益性

選択項目	回答数
役に立つ	70
ふつう	132
役に立たない	2
未記入	9
合計	213

<役に立たない理由> 細かい情報は直接問い合わせた方が確実だから

ホームページの有益性

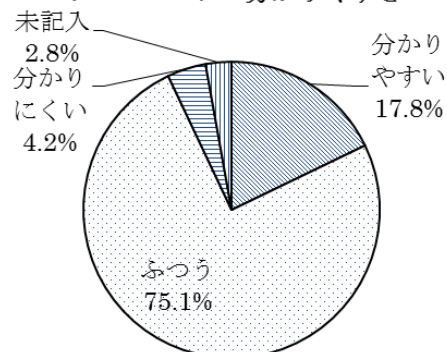


分かりやすさ

選択項目	回答数
分かりやすい	38
ふつう	160
分かりにくい	9
未記入	6
合計	213

<分かりにくい理由> まとまりがない 検索しづらい
トップページがごちゃごちゃしている

ホームページの分かりやすさ

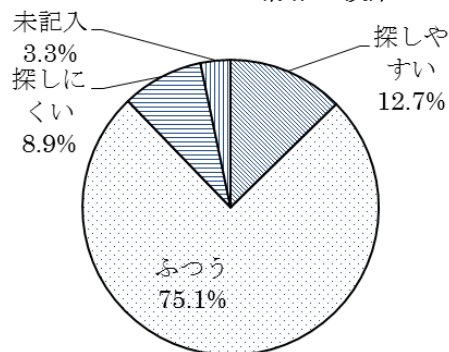


情報の検索

選択項目	回答数
探しやすい	27
ふつう	160
探しにくい	19
未記入	7
合計	213

<探しにくい理由> 見出しが分かりにくい
検索しても希望の項目に進まない
文字数とバナーが多い 項目を細分化してほしい

ホームページの情報の検索

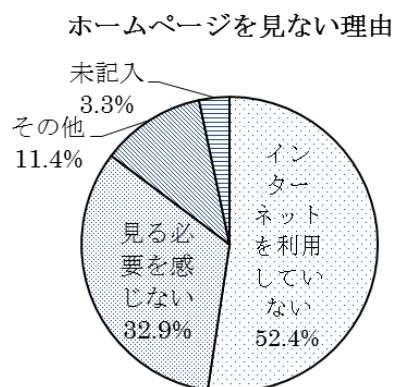


【問 14 結果のまとめ】

有益性は「役に立つ(32.9%)」と「ふつう(62.0%)」を合わせると 94.9%、分かりやすさは「分かりやすい(17.8%)」と「ふつう(75.1%)」を合わせると 92.9%、情報の検索は「探しやすい(12.7%)」と「ふつう(75.1%)」を合わせると 87.8%と高い割合になっている。今後も引き続き、より使いやすいホームページを目指し、改良を重ねていく。

問 15 あなたが、市ホームページを見ない理由を教えてください。

選択項目	回答数
インターネットを利用していない	220
見る必要を感じない	138
その他	48
未記入	14
合計	420



<その他> 時間がない 広報を読んでいる
使い方が分からない 存在を知らない

【問 15 結果のまとめ】

インターネットを利用していない人が 52.4%もある。これを年代別に見ると、10代から 30代が 13.0%、40代から 50代が 36.8%であるのに対し、60代以上は 69.1%となっている。

問 16 市ホームページについてのご意見・ご要望をお聞かせください(掲載を希望される内容なども教えてください)。

記事の提案

- ・ 市政の重要課題や懸案事項等も情報公開してほしい。
- ・ おくやみやおめでた等の掲載があれば毎日でもチェックする。
- ・ 各地区の文化、歴史等の紹介をしてほしい。

掲載内容の要望

- ・ イベント等の表示をカレンダーにするなど、分かりやすくしてほしい。
- ・ 防災の河川情報が変更されてから、大変使いにくい。

その他

- ・ 広報があるのでホームページは見ない。
- ・ 市の放送で「詳細はホームページを見てください」と聞かすが、パソコンのない家庭が多くある。このような家庭のフォローは考えているのか。
- ・ 調べたいことを手軽に見ることができるので便利だ。
- ・ 充実した内容である。それだけに、市民を中心にどれだけの人が見て、活用しているのか疑問である。活用に向けてのアピールが必要である。
- ・ 豊岡市ムービーライブラリーを楽しみにしている。

など

【問 16 結果のまとめ】

提言を受けた事項については、ホームページづくりの参考にする。

【総括】

< 市広報紙 >

平成 27 年度から発行回数が月 2 回から 1 回になった。発行回数の減少に伴い実施したページ数圧縮の取組み(掲載記事の再考、レイアウトの工夫など)や他の広報媒体の活用が、市民にどのように受け止められているのかを確認できた。

まず、回答者の 85.6%が、市広報紙を市の情報を得る主な手段と考えており、85.9%が市広報紙を読んでいる。しかし、10 代では 12.5%、20 代では 51.5%しか読んでおらず、読まない理由を分析し、若年者に読んでもらうための取組みが必要である。

文字の大きさ、ページ数、掲載内容は、現行のままでよいという意見が多数あるが、ページ数については回答者の 15.6%が多いと考えている。提供情報の増加に伴うページ数の増量は、「読みづらさ」を招くことから、掲載記事の精査、分かりやすい紙面づくり、掲載量の圧縮に引き続き心掛ける。

市からの情報提供は、回答者の 92.5%が満足またはふつうと回答している。市広報紙の発行回数の減少に伴う適時な情報提供を、行政情報放送や市ホームページなどの広報媒体の活用で補うことができたと考えられる。

掲載記事については、身近な情報に対する市民の関心の高さが伺えることから、提言のあった各地区の話題やコミュニティ情報、地域の声・顔の紹介などを検討するとともに、写真やグラフなどを利用し、親しみやすい広報紙をつくりたい。

< 市ホームページ >

市の情報を得る主な手段として「市ホームページ」を選択した回答者は 8.0%。前回調査より 2.6 ポイント減少している。

「市ホームページを見たことがない」という回答者は 63.2%。前回より 0.5 ポイント改善したものの、依然低い水準にあるため、掲載情報の充実や使い勝手などの向上を通じて、利用者の拡大を図る。また、市の情報を得る主な手段の上位 3 位が「市広報紙」「地区回覧」「行政情報放送」という、自宅に届く、もしくは放送されるといった受動型媒体であることを考えると、自分で情報を検索する能動型媒体のホームページが敬遠される傾向がうかがえるため、手間をかけずに必要な情報を入手しやすくする工夫が求められる。

ホームページで役立つ記事では「まちのニュース」「観光・イベント」「災害・防災情報」の上位 3 記事は前回と同じ。「年間行事予定」が 4 位、「市民ガイド」が 5 位と順位を上げている。反面、前回 4 位の「新着情報」が 6 位に順位を下げた。このことから、新しいだけの情報よりも、イベントや生活情報など、より身近な情報にニーズが集まる傾向にあるため、ニーズに合わせた情報発信を心掛けていく。

閲覧方法では、パソコンが 65.7%と最も高いものの、前回の 81.9%から 16.2 ポイントと大幅に減少している。それに対してスマートフォンは、前回の 11.8%から 25.4%と倍増している。この傾向は、今後も続くものと考えられるため、平成 30 年 6 月から稼働する新ホームページでは、スマートフォン対応のシステムを構築することが求められる。